



# ストーブ火災に気を付けよう！

雪国で必需品のストーブは、青森消防本部管内の火災原因で常に上位を占めています。これからの季節で活躍するストーブにはいくつもの火災危険が潜んでいます。そのほとんどは心がけひとつで防げるものです。

## ◆事例1

使用中の石油ストーブの上に干していた洗濯物が落下し出火した。

### ※ポイント

ストーブにより暖められた空気は上昇気流となり、気流の勢いで洗濯物が落下する可能性があります。絶対にストーブの近くでは洗濯物を干さないように！



## ◆事例2

使用中の石油ストーブの灯油がなくなったので、カートリッジを取り出し補給した。その後にキャップが緩んでいたため、カートリッジを装着しようとしたところ、キャップが外れてストーブ上に灯油が漏れ出火した。

### ※ポイント

給油するときは必ず火を消す。  
カートリッジのキャップはしっかり閉める。

## ◆事例3

ガソリンを灯油のポリ容器に保管していたため、それを知らない家族がガソリンを補給してしまい出火した。

### ※ポイント

ガソリンを誤って入れても、残っている灯油があるためしばらく異常に気付きません。突然右写真のように漏れたガソリンに引火してしまいます。

- ・ガソリンは専用の容器で保管する。
- ・子どもの手の届くところにガソリンは保管しない。



## ◆事例4

ファンヒーターの近くでヘアスプレー缶を使用したり、スプレー缶を置いていると左写真のように容器が破裂し、容器内に含まれているLPガスに引火して爆発を起こします。

### ※ポイント

- ・スプレー缶は冷暗所に保管する。
- ・火気の近くでスプレー缶は使用しない。
- ・室内でガス抜き作業はしない。

写真資料 製品評価技術基盤機構(nite)より